

2017年10月吉日

緩和ケア学術関連団体各位

米国研究製薬工業協会(PhRMA)

日本代表 エイミー・ジャクソン

### 第5回日本医師会-米国研究製薬工業協会(PhRMA)共催シンポジウム開催について

平素より、本会活動にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて今般、第5回目となる日本医師会と米国研究製薬工業協会(PhRMA)による共催シンポジウムを開催する運びとなりました。

開催日・場所は、次頁開催概要にございますとおり、来たる11月9日(木)午後2時より、ザ・ペニンシュラ東京にて予定しております。

今回のシンポジウムのテーマは、「超高齢社会における緩和ケアのあり方」です。

高齢化が急速に進む我が国においては、高齢者に対する緩和ケアのあり方が課題となっており、できるだけ早期の段階から、患者本人とその家族に対して行われることが望ましいとされています。さらに、穏やかで尊厳ある終末を見据え、アドバンスケアプランニング等も含めた意思決定支援を行っていくなかで、本人の意思を尊重し、QOLをより重視した緩和ケアを目指していくことも重要です。

上記を背景に、今回は、我が国における緩和ケアへの取り組みや現状と課題、また国内外における緩和ケアの先進的な事例等から、今後の緩和ケアのあり方を考える機会といたしたく存じます。

つきましては、ぜひ皆様のご出席を賜りたく、ご案内申し上げます次第でございます。

添付申込用紙に、必要事項をご記入の上、11月2日(木)までに、ご返送くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、貴社の関係部署に方々へのご案内につきましても、ご高配賜れば幸甚に存じます。

何卒宜しくお願い申し上げます。

## <開催概要>

### 「超高齢社会における緩和ケアのあり方」

- ・日時: 11月9日(木) 2:00～4:30PM ※1:30PM～受付開始、同時通訳あり
- ・会場: ザ・ペニンシュラ 東京「グランドボールルーム」 ※別添地図をご参照ください。

#### ・プログラム:

2:00-2:05 開会挨拶: 横倉義武 日本医師会会長

2:05-3:25 基調講演

1) 「日本のがん緩和ケアへの取り組み」

小川朝生(国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野長)

2) 「がんと診断された時からの緩和ケア～がんを標的とした治療と支持・緩和医療の統合を目指して～」

田村和夫(福岡大学医学部総合医学研究センター 教授)

3) 「エンドオブライフ・ケアに至る包括的治療における緩和ケアとACP

～高齢者ケアにおける意思決定支援の視点から～

清水哲郎(岩手保健医療大学学長)

4) 「海外の緩和ケア提供体制と最新事例について(仮)」

パム・トラクセル(米国がん協会がん行動ネットワーク アライアンス構築/慈善事業担当部門  
上級バイスプレジデント)

3:25-3:30 休憩～ステージ配置転換

3:30-4:25 パネルディスカッション

進行役: 日本医師会常任理事 道永麻里

パネリスト: 基調講演の上記4名

4:25-4:30 閉会挨拶: PhRMA 在日執行委員会委員長 パトリック・ジョンソン

(日本イーライリリー株式会社 代表取締役社長)

4:30 閉会

## <演者略歴>

### ●講演1)小川朝生(国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野長)



1999年大阪大学医学部医学科卒業後、同医学部附属病院神経科精神科入局(研修医)。2004年4月以降、国立病院機構大阪医療センター神経科医員、国立がんセンター東病院精神腫瘍科医員を経て、2015年4月より現職。

### ●講演2)田村和夫(福岡大学医学部総合医学研究センター 教授)



1974年九州大学医学部医学科卒業後、同大学第一内科入局。マウントサイナイ病院系エルムースト総合病院内科インターン、レジデント、ロズウェルパーク記念研究所腫瘍内科学フェローシップ、ニューヨーク州立バッファロー大学医学部助手などを経て、1997年、福岡大学医学部内科学第一(現 腫瘍・血液・感染症内科学)教授就任。その後、福岡大学病院病院長などを歴任し、2015年4月より現職。

### ●講演3)清水哲郎(岩手保健医療大学学長)



1969年東京大学理学部天文学科卒業、1977年東京都立大学大学院博士課程修了後、同大学人文学部助手。1980年北海道大学文学部講師に転任以降、同大学文学部助教授、東北大学大学院文学部研究科教授等を経て、2007年東京大学大学院人文社会系研究科特任教授。2017年4月より現職。

### ●講演4)パム・トラクセル

(米国がん協会がん行動ネットワーク アライアンス構築/慈善事業担当部門 上級バイスプレジデント)



2007年より米国がん協会がん行動ネットワーク(American Cancer Society, Cancer Action Network :ACS CAN)の連携構築及び慈善事業担当部門で上級バイスプレジデントを務める。ACS CANを全国規模で提言を行う団体へと成長させ、あらゆるレベルの行政組織における政策決定に影響を与えてきた。現職への就任以前は、民主党全国委員会、民主党知事会、民主党選挙活動委員会など、民主党内の各組織において様々な職を歴任。ACS CANは全米および州レベルの両方で緩和ケアの提唱を主導している。

日本医師会・米国研究製薬工業協会(PhRMA)共催シンポジウム お申込み用紙

《締切 11月2日(木)迄》

メールアドレス: phrma@jc-inc.co.jp もしくは ファックス番号:03-3291-0223

米国研究製薬工業協会(PhRMA)広報事務局 行

<ご出欠について>

ご出席 ご欠席

・貴団体/社名

・ご出席者のお名前(代表者に○をおつけください)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

・団体ご連絡先

ご住所:〒

TEL:

E-mail:

お問い合わせ先

PhRMA 広報事務局 (株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL:03-3291-0118 FAX: 03-3291-0223

〒101-0065 東京都千代田区西神田 1 丁目 3 番地 6 号 ウエタケビル 4 階

■ザ・ペニンシュラ東京 地図



- ・東京メトロ日比谷線・千代田線・都営三田線 日比谷駅 … 地下通路直結 A6・A7 出口
- ・東京メトロ有楽町線 有楽町駅 … 地下通路直結 A6・A7 出口